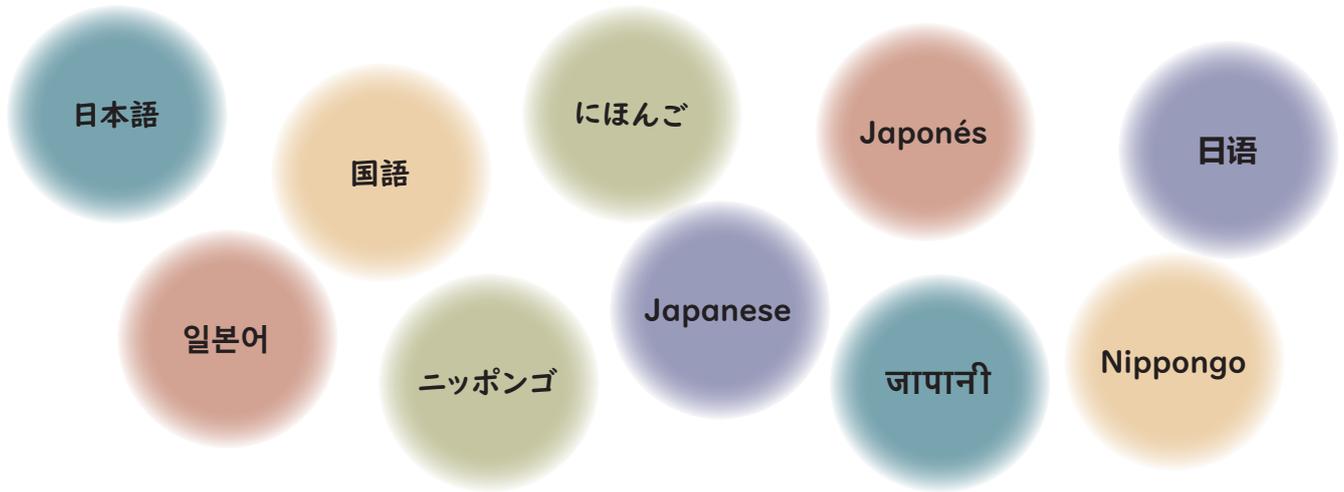
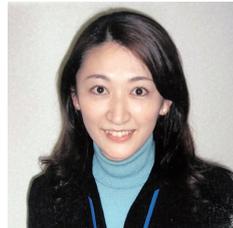


シンポジウム「日本語の明日を考える」

～共生社会の「ことば」を広げていくために～



庵 功雄
＜基調講演＞
一橋大学教授
言語学者・日本語学者



増田麻美子
＜政策講演＞
文部科学省日本語教育課
日本語教育調査官



加藤早苗
パネリスト
インターカルト
日本語学校校長



大関浩美
パネリスト
麗澤大学国際学部・
言語教育研究科教授



金 孝卿
パネリスト
麗澤大学国際学部・
言語教育研究科教授



岩澤知子
ファシリテーター
麗澤大学国際学部教授
学長補佐

2025年 **5月31日(土) 13:30～17:30**

(開場 **12:30**) 参加無料*

於・麗澤大学 校舎「さつき」1階・大講義室
千葉県柏市光ヶ丘 2-1-1

* 直接のご来場も可能ですが、会場準備のため、右下の
QRコードまたは公式Webサイトから極力ご予約ください。

外国人に日本語を教える日本語教員が、国家資格になりました。

在留外国人が358万人と過去最高を更新し、本格的な多文化共生社会を迎えようとしている今、小中高校で教えている「国語」とは全く異なる、「外国語としての日本語」を教えらるプロが求められています。

一方で、就学・就労・地域生活・文化交流と、日本語を学ぶニーズは様々です。「正しい日本語」をめざすだけでなく、私たち一人ひとりが「伝えられる日本語」「伝わる日本語」を考え、話し、書くべき時代が来ているのかもしれない。

このシンポジウムは、パネリストが日本語の持つさまざまな課題や現場での最新の取り組みをご紹介します、ご参加の皆様と共生社会の「ことば」に向けた様々な気づきを共有していこうとする試みです。日本語教育に関わり、あるいは関わろうとする皆様、そして広く「ことば」と共生社会に関心を寄せる皆様のご参加をお待ちしています。



YouTubeライブ配信!

YouTube麗澤大学チャンネル/麗澤大学公式Webサイト

麗澤大学 <https://www.reitaku-u.ac.jp/>



JR常磐線各駅停車(東京メトロ千代田線直通)「南柏」駅、東口より東武バス「1番乗り場」に乗り車で約4分。「麗澤大学前」下車。
※1番乗り場のバスはすべて「麗澤大学前」を通ります。



共生社会の「ことば」って？ 日本語の「いま」をめぐって 気づきを広げるシンポジウムです。



キーワード

💡 多文化共生社会

国籍や民族などの異なる人々が、互いの文化的ちがいを認め合い、対等な関係を築こうとしながら、地域社会の構成員として共に生きていくこと。

💡 日本語教育機関認定法

政府が日本語教育機関を認定し、国家試験「日本語教員試験」に合格し実践研修を修了した人に「登録日本語教員」の資格を与える法律。2024年4月施行。

💡 やさしい日本語

外国人や子ども、高齢者、障がい者など、さまざまな人が理解しやすい日本語。震災時に掲示・案内文が理解されなかった反省から考案された。

💡 日本語学校

外国人に日本語を教える学校。全国に800校以上あるが、2023年度までは文科省の管轄ではなく、教員資格も民間で与えていた。

💡 日本語学習支援者

地域の日本語教室などで、主にボランティアとして外国人の日本語学習を支援する人のこと。外国人雇用の多い企業や団体にもいる。

💡 子ども日本語支援すまいる

麗澤大学の自主活動サークル。外国人子女への日本語学習支援を目的に、小学校などで子どもたちに日本文化や日本語に触れる機会を提供。

プログラム

13:00 <開場>

13:30 **趣旨説明：岩澤 知子**
開催の背景と目的について

13:40 **基調講演：庵 功雄**
多文化共生社会への課題と日本語に求められるもの

14:25 **政策講演：増田 麻美子**
「日本語教育機関認定法」の施行と今後の展望について

<休憩>

15:10 **日本語学校の課題と展望：加藤 早苗**
「日本語教育機関」の過去と現在、そして未来へ

15:40 **日本語の多様性と異文化理解：大関 浩美**
日本語の多様性と異文化理解
——「正しい日本語」の呪縛を超えて、「これからの日本語」のために

16:10 **外国人支援実践と多様な日本語使用：金 孝卿**
日本語学習支援者の多様化とアイデンティティ形成を考える
——「子ども日本語支援すまいる」の活動を例に

<休憩>

16:50 **ディスカッション（質疑応答を含む）**
ファシリテーション：岩澤 知子

17:30 懇親会（希望者）

登壇者プロフィール

庵 功雄（いおり・いさお）<基調講演>

一橋大学国際教育交流センター教授。大阪大学大学院文学研究科博士後期課程修了。新村出研究奨励賞。林大記念論文賞、日本語教育奨励賞受賞、2023年文化庁長官表彰。「やさしい日本語」研究の第一人者。

増田 麻美子（ますだ・まみこ）<政策講演>

文部科学省日本語教育課日本語教育調査官。大学卒業後、韓国で日本語教師として教壇に立つ。帰国後、日本語学校で留学生や就労者に対する日本語教育、日本語教師養成に携わる。NHK放送技術研究所のプロジェクトで「News web EASY」の書き換えを担当。2012年専門職として文化庁入庁。

加藤 早苗（かとう・さなえ）

インターカルト日本語学校校長。日本語教員養成研究所所長。日本語教育振興協会及び日本語学校協同組合理事。大学職員、日本語教師を経て現職。仕事の傍ら大学院修士課程修了。新しい日本語教育フィールドを開発したいと願う。

大関 浩美（おおせき・ひろみ）

麗澤大学国際学部・言語教育研究科教授。早稲田大学第一文学部（西洋史学）卒業、お茶の水女子大学大学院人間文化研究科言語文化専攻博士前期課程修了、同大学院人間文化研究科国際日本学専攻応用言語論講座博士後期課程修了。

金 孝卿（キム・ヒョギョン）

麗澤大学国際学部・言語教育研究科教授。圓光大学校師範大学日本語教育科卒業、お茶の水女子大学大学院人間文化研究科言語文化専攻博士前期課程修了、同大学院人間文化研究科国際日本学専攻応用日本語論講座博士後期課程修了。

岩澤 知子（いわさわ・ともこ）<ファシリテーター>

麗澤大学国際学部教授、学長補佐、サステナビリティ推進機構長、麗澤オープンカレッジ長。大阪大学人間科学部卒業、ボストン大学大学院哲学修士課程修了、同大学院宗教学科博士課程修了。

主宰：学校法人廣池学園 麗澤大学

協力：文部科学省認可 日本語学校協同組合

事務局・お問合せ：麗澤大学代大学入試・広報課（担当：平塚）

E-mail: koho@reitaku-u.ac.jp

〒277-8686 千葉県柏市光ヶ丘 2-1-1 04-7173-3136